

第23期(令和元年11月～令和4年10月)

【運営理念】 「地域経済の活力強化」と「魅力ある地域づくり」の実現
～みんなで考え、みんなで行動し、みんなで「地域力」を高めよう～

【基本方針】 ●企業と地域の課題解決の先にある、将来にわたる持続的成長へ貢献する
●「構造改革」「イノベーション」「連携」を重視し、新しい価値創造に挑戦する

【取り組みの現状】
※下線の数値は第3四半期末実績

一人材確保・育成・生産性向上

- 合同企業説明会等/9回開催、企業642社、学生数1,121名
- 無料職業紹介所/求人数875名、求職者147名
- モグジョブ/開催数33回・参加事業所数96社・参加学生数273名
- IT化、IoT導入支援/22社
- セミナー・講習会/21講座・733名
- 労働保険事務委託事業/313社
- ビジネスパーク/講師数255名・派遣校19校・参加生徒3,290名

一中小企業支援一

- 巡回・窓口相談/1,164件
- マル経融資/22件・11,730万円
- 創業支援/相談件数144件・新規創業者数4件
- 事業承継診断/22件
- BSC専門家派遣/14件
- 補助金申請支援/97社

一産業振興一

- 東三河産業創出協議会/三遠南信商談会、ものづくり博企画検討、技科大研究室訪問事業など
- “地域の絆”情報交換・商談会/参加156社・商談221件

一観光振興一

- 炎の祭典/リニューアルの実施、来場者数4,600人
- ええじゃないか豊橋まつり
- 豊橋みなとフェスティバル/来場者数33,000人

【環境変化・課題認識】

- 新型コロナウイルス感染症の影響
- 少子高齢化・労働人口減少による人材確保難
- 人手不足による省力化・効率化需要の高まり、デジタルテクノロジーの進展
- 事業所数の減少
- 競合する支援機関の台頭
- 巨大地震・台風等の災害リスク増大
- 交流人口の増加

I.地域経済の活力強化

重点テーマ① 人材確保・育成と生産性向上

- 1) 人材確保・活躍支援
- ① 学生就職情報センターや無料職業紹介所、モグジョブによる人材確保・採用支援
 - ② UIターン人材や企業OB人材に焦点を当てた、新たなチャネルの構築
 - ③ 高齢者や女性、外国人材の活躍を推進する企業の取り組み支援
 - ④ 健康経営の普及啓発
- 2) 生産性向上
- ① IT、IoT、AI、RPAなどの最新情報や導入事例の提供
 - ② 個社の規模、特性に応じた「身の丈IT」導入支援
- 3) 人材育成・雇用安定
- ① 多様なセミナー・講習会・検定試験等を通じた高度な人材育成・能力開発
 - ② リカレント教育や資格取得の推進支援
 - ③ 中小企業の雇用安定を図る労働保険事務組合への加入促進
 - ④ ビジネスパーク事業による将来の地域と企業を担う人材の育成

重点テーマ② 持続的成長を導く企業支援

- 1) 伴走型支援の推進
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業所に対する経営支援
 - ② 成長ステージに応じた支援（創業、事業承継、販路拡大・マーケティング、プロモーションなど）
 - ③ 財務診断・企業ドックによる経営分析・課題把握
 - ④ 経営計画策定支援の充実化（BCP策定、補助金活用、経営革新など）
- 2) 相談支援機能の強化
- ① 多様かつ高度な経営課題を解決する専門家の拡充
 - ② 地元金融機関やサイエンス・クリエイト、CLUE、自治体など各種組織と連携した支援体制の構築

重点テーマ③ 地域特性を活かした産業形成・産業振興

- 1) 産学官連携・農商工医連携・広域連携
- ① 東三河産業創出協議会による地域産業・業界の発展に繋がる産業の創出
 - ② 地域“の絆”情報交換・商談会をはじめ多様なネットワークを活かしたビジネスマッチングの支援
 - ③ 多様な連携を基盤とした、新分野進出やスタートアップの促進による事業創造支援
 - ④ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）を通じた産業振興の推進
- 2) 商業・サービス振興
- ① 業種・業界の枠組みを越えたテストマーケティングの展開
 - ② 都市デザイン文化賞の企画運営
- 3) ものづくり振興
- ① 事業者の技術課題と大学の技術テーマのマッチングの促進
 - ② 東三河ものづくり大賞の企画運営
- 4) 観光振興
- ① 観光誘客を目的とした、炎の祭典、ええじゃないか豊橋まつりの開催
 - ② NHK朝の連続テレビ小説「エール」を活用したシティプロモーション活動の展開

【主な取り組み・達成目標】

- SNSやWEBサイト等を活用し、大学生・求職者と求人企業の接点拡大を図り、人材採用活動を支援
 - ・ 合同説明会参加企業の接触学生/1回・10人以上
 - ・ 無料職業紹介所を通じた中途採用/15人
- UIターン人材や企業OB人材の就職定住を促進する、企業や地域の魅力を伝える専用WEBサイトの構築
- 専門家やIT企業と連携したIT化・IoT導入支援
 - ・ 相談支援件数/50社
 - ・ IT導入支援委員会を設置し、生産性向上などに繋がる、会員向け支援メニューを構築する
- 各種セミナーや資格取得講座、新設するパソコン教室を通じ、従業員等の学び直しやスキルアップを図る
 - ・ 年間受講者数/2,500名

- 資金繰りや雇用安定などの緊急施策を活用した、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業所への対応
- 経営計画策定を軸にした伴走型支援の推進
 - ・ 創業相談支援件数：200件、新規創業者数：15件
 - ・ 事業承継相談支援件数：40件
 - ・ BSC専門家派遣件数：40件
 - ・ 補助金申請支援：100件、目標採択率：80%以上

- 三遠南信、愛知県、東三河など広域的な産業支援機関のネットワークを活かした、ビジネス・マッチング機会を創出し、販路拡大・取引先開拓を支援
 - ・ 商談件数：250件
- 東三河のものづくり関連産業の強みを地域内外に発信するとともに、産学官連携による次世代を担う小中学校・高校・大学生との接触機会づくり
 - ・ ものづくり博2020in東三河：出展数90企業・団体、来場者20,000名
- 事業者の技術的課題（ニーズ）と大学の研究テーマ（シーズ）のマッチングをコーディネートし、産学共同研究や新たな事業領域への進出・転換を促す
 - ・ マッチング件数：15社

第23期(令和元年11月～令和4年10月)
 【運営理念】 「地域経済の活力強化」と「魅力ある地域づくり」の実現
 ～みんなで考え、みんなで行動し、みんなで「地域力」を高めよう～
 【基本方針】 ●企業と地域の課題解決の先にある、将来にわたる持続的成長へ貢献する
 ●「構造改革」「イノベーション」「連携」を重視し、新しい価値創造に挑戦する

【取り組みの現状】

一調査事業一

- 景気動向調査、中小企業景況調査、LOBO（早期景気観測）調査

一政策提言・要望活動一

- 浜松三ヶ日・豊橋道路、三遠南信自動車道、東三河縦貫道路、各浜道路等の整備促進
- 三河港の整備促進、港湾計画改訂に向けた提言書策定
- 設楽ダム建設促進
- 愛知県・豊橋市への要望

一広域連携による地域づくり一

- 東三河振興に向けた主要プロジェクトの推進、東三河経済フォーラムの開催
- 東三河DMO研究会への参画
- 三遠南信 新連携ビジョンの推進

一中心市街地活性化一

- 豊橋ひろこうじ歩行者天国
- とよはしキラキラ☆イルミネーション

【環境変化・課題認識】

- 都市間競争の激化
- 社会資本のストック効果の最大化
- 地域社会の課題の複雑化

II. 魅力ある地域づくり

重点テーマ④ 実現性とスピード感のある政策提言・要望活動

1) ニーズに基づいた政策提言・要望

- ① 部会、委員会、巡回訪問、各種調査等を通じた意見集約
- ② 積極的な提言・要望活動の推進
 - 中小企業対策（新型コロナウイルス感染症対策関連を含む）
 - 税制・規制緩和
 - 地域開発・まちづくり
 - 社会資本整備

2) 実現性強化と成果の見える化

- ① 課題解決に向けた行政機関等との対話強化
- ② 活動成果の地域・会員へのフィードバック

重点テーマ⑤ 界を越えた連携と共創による地域づくり

1) 連携体制の強化

- ① 大学や各種団体等との包括協定等の締結
- ② 東三河県庁、東三河広域経済連合会、東三河広域連合との連携強化
- ③ 東三河DMOの設立に向けた研究検討

2) 魅力ある地域づくり、まちづくりの実現

- ① 二川・湖西地区県境域における渋滞、広域防災対策への取り組み
- ② 再開発の進展を踏まえた、新たなまちづくりやエリアマネジメントへの積極的な参画

【主な取り組みと達成目標】

- 会員のニーズや課題の把握手段である各種調査事業の充実・見直しを図る
- 本格化する三河港湾計画改訂の動きについて、民間発想により、地域経済の持続的成長の観点から、土地利用、港湾運営に関して意見する
- 関係行政機関等と新たな協議の場を設けるなど、産業や地域の課題の共有を進め、解決に向けた共創により、提言・要望事項の実現強化を図る

- 大学をはじめ企業、各種団体・機関等との包括提携等を積極的に締結し、これらとの関係性を密にし、連携事業の実効性を高める
- 企業の人材確保、移住定住の推進、観光まちづくりの推進などをテーマとした、各自治体や広域連合との連携を強化する
- 県境をまたいだ企業・経済団体・自治体による課題抽出と解決策の展開
- 駅前大通二丁目再開発事業の進展を見据えた、魅力的なまちづくり機能についての整理

【取り組みの現状】

※下線の数値は第3四半期末実績

- 会員数／5,255会員
- 生命共済制度加入事業所数／1,168社
- 定期健康診断／利用事業所数：47社、受診者数：188名
- 会員サービス事業・財政基盤強化における提携先／豊橋市医師会、成田病院、アクサ生命保険、東京海上日動火災、三井住友海上火災、タスキなど

【環境変化・課題認識】

- 廃業事業所の増加
- 会員ニーズの多様化
- 事業活動の硬直化・マンネリ化
- 事務局の活性化

III. 企業と地域を支える組織基盤の構築

重点テーマ⑥ 商工会議所の組織基盤強化

1) 組織・財務基盤の強化

- ① 会員純増に向けた入会促進策の検討・展開
- ② 財政基盤強化（ビル運営、共済制度など）
- ③ プレスリリース、会報誌、HP、SNS、メールマガジンの効果的活用による情報発信力の強化
- ④ 会員サービスメニューの充実化
- ⑤ 生保・損保、金融機関、各種業界団体と連携した会員サービス事業の利用促進

2) 運営体制の充実・強化

- ① 部会、委員会、女性会、青年部、各種団体、事務局の活性化
- ② 商工会議所としてのBCP策定

【主な取り組みと達成目標】

- 会員サービス委員会を設置し、会員サービス事業の再構築等を図り、会員拡大や運営基盤強化を推進する
 - ・ 会員加入促進：新入会員 200件
- 会員メリット拡充や質の高いサービスの提供の原資とするため、財政基盤を強化する
 - ・ 生命共済制度の改訂に向けた準備・手続【※新制度スタート：令和3年6月～】
 - ・ パソコン教室の開講
 - ・ ビル運営の効率化、設備更新
- 商工会議所の基本的組織基盤である部会活動の活性化により会員事業所との接触機会を拡充する